

行い、より実験を楽しんでもらえるよう努めていた。

金城学院大学図書館と名古屋市立守山図書館は、今後も地域連携、読書推進、学生の成長の三つの観点から公共図書館との共同事業を進める予定だ。

## 子どもと図書館で科学実験 金城学院大 学生ボランティア



金城学院大学（奥村隆平学長）と名古屋守山図書館は共催で、八月二

十一日に「絵本で知る！実験で分かる！『水のはしき』」を開催した。これは、同大学図書館と同市立図書館が継続的に行事を共同開催してきたもので、今年度は新たな試みとして、岐阜大学の西健夫准教授と、金城学院大学の龍澤彩教授による共著、科学絵本『地球を旅する水のはなし』（福音館書店）を題材に実施した。

絵本の朗読と大西准教授による科学実験を通して、子どもたちに絵本そのものはもちろん、科学や地球の環境に興味をもってもらい、金城学院大学図書館の学生ボランティア「Lilian（リリアン）」のメンバーが、朗読や実験の補助を通して、地域の子どもたちと直接ふれあいを持つ機会を得ることを目的として行われた。

当日は、二〇名の子どもとその保護者が参加した。絵本の朗読は保育施設での実習経験のある「Lilian」が務めた。事前練習の成果もあって、子どもたちは話に聞き入っていた。科学実験は「雲をつくる実験」など、簡単でかつ見た目で分かりやすいものであり、子どもたちは夢中で取り組んだ。Lilianも積極的に子どもたちに話しかけを